

競輪審判員技能検定用機器を試作

日本自転車振興会から競輪審判員の技能検定用として使用されている測定器の更新開発を依頼され、このほどその試作が完成したので紹介する。

測定器は、審判員の登録・更新の資格検定用として技能判断力を測定するものであり、次の三つの測定が行われている。

- 1、反応時間測定
表示されたものを判別して反応する。
- 2、瞬間知覚能検査
瞬間に表示された事象を読みとる。
- 3、色名再生能検査
瞬間に表示される色の順序を読みとる。

現行の測定器は、16年前に開発され、上記に沿った個別測定器となっており、表示機能も固定化されていることなどから、新しい測定器の要望となった。

写真1、2は、現行で使用されている測定器の一部である。

今回の試作開発では、三つの測定器仕様を一つの測定器で実行できないかを検討して最終的にはコンピュータを内蔵した方式とし、簡便的にパソコンを利用した測定システムを採った。

新測定システムの構成は、次とした。

- ・ノート型パソコン（試験官側）
- ・外部液晶型ディスプレイ（被験者側）
- ・操作押釦スイッチ（被験者応答用）
- ・プリンタ（測定結果出力用）
- ・測定用試作プログラム

写真3は、試作した新測定システムである。新システムでは、コンピュータ機能によって反応時間測定では、測定の自動化、表示時間のランダム化、結果の平均計算などが可能となった。

また、瞬間知覚能検査、色名再生能検査では、表示する事象（数字、イメージ画）、表示する色の順序などを数種類用意し、試験日によって任意に選択できるようにした。

試作の結果は、依頼先から『現行と変わらな

い検査法であり、それ以上に操作性が良くなった。違和感なしに現行から代わることができる。そして、検定結果をコンピュータで処理しやすい。』などの評価を得た。

開発した試作品は、今後、依頼先でのテスト試用を受けて実用化への検討を行い、次年度（平成9年度）に実用器を数台製作して、現行器を更新していく計画を持っている。

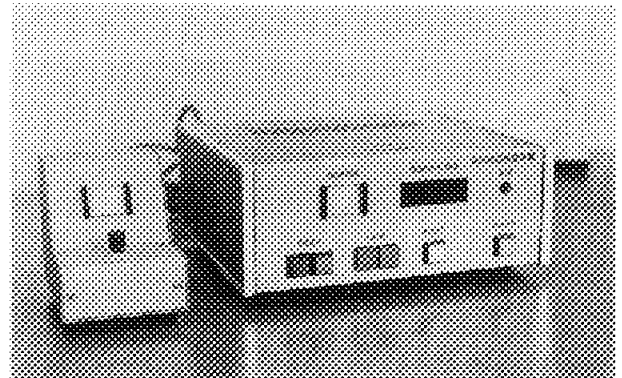


写真1 現行の反応時間測定器

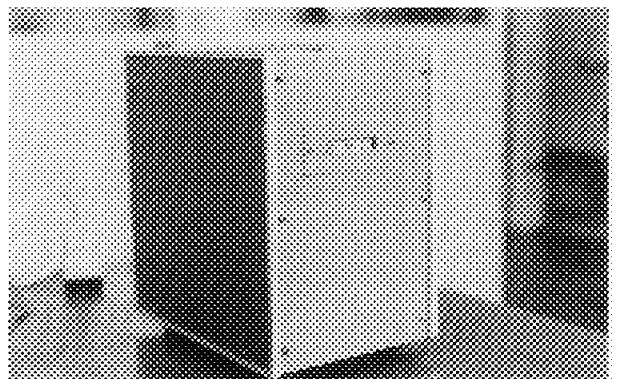


写真2 現行の色名再生能検査器

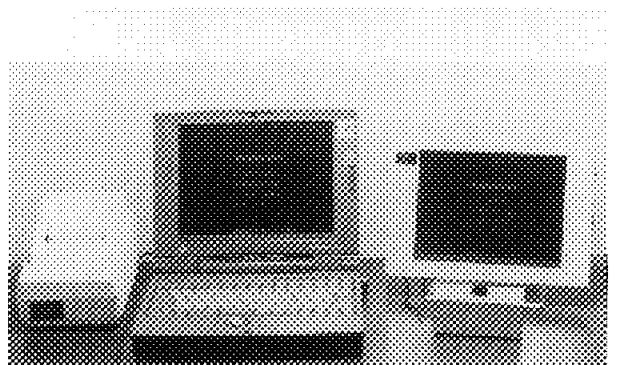


写真3 試作した新測定システム